

資料編

1	調査団員氏名	1
2	調査日程	2
3	関係者リスト	4
4	討議議事録 (M/D)	5
5	事業事前評価表	56
6	収集資料リスト	59
7	自然条件調査結果	61

1. 調査団員氏名、所属

1-1 基本設計調査

担当	氏名	期間	所属
1) 総括	斉藤 寛志	—	独立行政法人国際協力機構 パラグアイ所長
2) 技術参与	小林 誠	11/2～11/13	国立国際医療センター 国際医療協力局派遣協力第一課
3) 計画管理	倉光 美奈子	11/2～11/13	独立行政法人国際協力機構 業務第2グループ 保健医療チーム
4) 業務主任/ 建築計画	浅野 静一	10/30～11/27	株式会社 梓設計
5) 建築設計	村本 一彦	10/30～11/27	株式会社 梓設計
6) 設備設計	金塚 経敏	10/30～11/23	株式会社 梓設計
7) 施工計画/ 積算 I	福永 健一	10/30～11/23	株式会社 梓設計
8) 機材計画	赤木 重仁	10/30～11/27	アイテック 株式会社
9) 調達計画/ 積算 II	大林 幸一	10/30～11/28	アイテック 株式会社
10) 通訳（西語）	井海 万里	10/30～11/27	翻訳センターパイオニア

1-2 基本設計概要説明調査

担当	氏名	期間	所属
1) 総括	斉藤 寛志	—	独立行政法人国際協力機構 パラグアイ所長
2) 技術参与	小林 誠	2/19～3/5	国立国際医療センター 国際医療協力局派遣協力第一課
3) 計画管理	倉光 美奈子	2/19～3/5	独立行政法人国際協力機構 業務第2グループ 保健医療チーム
4) 業務主任/ 建築計画	浅野 静一	2/19～3/5	株式会社 梓設計
5) 機材計画	赤木 重仁	2/19～3/5	アイテック 株式会社
6) 通訳（西語）	井海 万里	2/19～3/5	翻訳センターパイオニア

2. 調査日程

2-1 基本設計調査

			官団員		業務主任/建築計画	建築設計	設備設計	施工計画/積算Ⅰ	機材計画	調達計画/積算Ⅱ	通訳
					浅野 静一	村本 一彦	金塚 経敏	福永 健一	赤木 重仁	大林 幸一	井海万理
					12日間	29日間	29日間	25日間	25日間	29日間	25日間
1	10月30日	日	AM		成田発(JL048 18:55)→	成田発(JL048 18:55)→	成田発(JL048 18:55)→	成田発(JL048 18:55)→	成田発(JL048 18:55)→	成田発(JL048 18:55)→	成田発(JL048 18:55)→
2	10月31日	月	AM	→サンパウロ→アスンソン着 (RG7310 11:30)	→サンパウロ→アスンソン着 (RG7310 11:30)	→サンパウロ→アスンソン着 (RG7310 11:30)	→サンパウロ→アスンソン着 (RG7310 11:30)	→サンパウロ→アスンソン着 (RG7310 11:30)	→サンパウロ→アスンソン着 (RG7310 11:30)	→サンパウロ→アスンソン着 (RG7310 11:30)	→サンパウロ→アスンソン着 (RG7310 11:30)
			PM	JICA表敬	JICA表敬	JICA表敬	JICA表敬	JICA表敬	JICA表敬	JICA表敬	JICA表敬
3	11月1日	火	AM	アスンソン大学インセプション 説明	業務主任と同じ	業務主任と同じ	業務主任と同じ	業務主任と同じ	業務主任と同じ	業務主任と同じ	業務主任と同じ
			PM	アスンソン大学病院協議		建設資機材・単備調査	建設資機材・単備調査	建設資機材・単備調査	建設資機材・単備調査	建設資機材・単備調査	建設資機材・単備調査
4	11月2日	水	AM	成田→	アスンソン大学病院調査	業務主任と同じ	建設許可申請内容協議	建設許可申請内容協議	業務主任と同じ	業務主任と同じ	業務主任と同じ
			PM		イタグア病院調査		建設資機材・単備調査	建設資機材・単備調査			
5	11月3日	木	AM	→サンパウロ→ アスンソン	アスンソン大学病院協議	業務主任と同じ	電話局協議	電話局協議	業務主任と同じ	業務主任と同じ	業務主任と同じ
			PM	アスンソン大学病院調査	官と同じ	官と同じ	官と同じ	官と同じ	官と同じ	官と同じ	官と同じ
6	11月4日	金	AM	アスンソン大学表敬	官と同じ	官と同じ	市役所協議、医が入調査	市役所協議、医が入調査	官と同じ	官と同じ	官と同じ
			PM	C.M.I.調査 大使館・JICA表敬、協議			建設資機材・単備調査	建設資機材・単備調査			
7	11月5日	土	AM	団内会議	団内会議	団内会議	建設資機材・単備調査	建設資機材・単備調査	団内会議	団内会議	団内会議
			PM								
8	11月6日	日	AM	団内会議	団内会議	団内会議	団内会議	団内会議	団内会議	団内会議	団内会議
			PM								
9	11月7日	月	AM	赤十字病院調査	官と同じ	官と同じ	水運局・消防・市役所協議	水運局・消防・市役所協議	官と同じ	官と同じ	官と同じ
			PM	カトリック病院調査 IPS病院調査 アスンソン大学協議			自然条件調査 建設資機材・単備調査	自然条件調査 建設資機材・単備調査			
10	11月8日	火	AM	ミニッツ協議	官と同じ	官と同じ	官と同じ	建設資機材・単備調査	官と同じ	官と同じ	官と同じ
			PM								
11	11月9日	水	AM	ミニッツ協議	官と同じ	官と同じ	建設事情調査	建設事情調査	官と同じ	官と同じ	官と同じ
			PM				建設資機材・単備調査	建設資機材・単備調査			
12	11月10日	木	AM	ミニッツ協議	官と同じ	官と同じ	電力会社協議	電力会社協議	官と同じ	代理店調査	官と同じ
			PM	大使館・JICA報告			建設資機材・単備調査	建設資機材・単備調査			
13	11月11日	金	AM	ミニッツサイン 大使館・JICA報告	アスンソン大学病院協議	アスンソン大学病院協議	設備計画家検討	施工計画検討	業務主任と同じ	代理店調査	業務主任と同じ
			PM	アスンソン→サンパウロ							
14	11月12日	土	AM	→機中	アスンソン大学病院協議	施設計画家検討	設備計画家検討	施工計画検討	業務主任と同じ	代理店調査	業務主任と同じ
			PM								
15	11月13日	日	AM	→成田	団内会議	団内会議	団内会議	団内会議	団内会議	団内会議	団内会議
			PM								
16	11月14日	月	AM		アスンソン大学病院協議	施設計画家検討	設備計画家検討	施工計画検討	業務主任と同じ	代理店調査	業務主任と同じ
			PM								
17	11月15日	火	AM		アスンソン大学病院協議	施設計画家検討	設備計画家検討	施工計画検討	業務主任と同じ	代理店調査	業務主任と同じ
			PM				公共事業省協議	公共事業省協議			
18	11月16日	水	AM		アスンソン大学病院協議	施設計画家検討	設備計画家検討	建設資機材・ 単備調査	代理店調査	代理店調査	業務主任と同じ
			PM		国際機関調査						
19	11月17日	木	AM		アスンソン大学病院協議	施設計画家検討	インフラ調査	建設資機材・ 単備調査	代理店調査	代理店調査	業務主任と同じ
			PM		国際機関調査						
20	11月18日	金	AM		アスンソン大学病院協議	施設計画家検討	インフラ調査	建設資機材・ 単備調査	機材計画	代理店調査	業務主任と同じ
			PM								
21	11月19日	土	AM		補足調査	施設計画家検討	インフラ調査	建設資機材・ 単備調査	機材計画	代理店調査	業務主任と同じ
			PM								
22	11月20日	日	AM		団内会議	団内会議	団内会議	団内会議	団内会議	団内会議	団内会議
			PM								
23	11月21日	月	AM		アスンソン大学病院協議	アスンソン大学病院協議	アスンソン発(AA906 18:15)→ サンパウロ→	アスンソン発(AA906 18:15)→ サンパウロ→	業務主任と同じ	アスンソン発(AA906 18:15)→ サンパウロ→	業務主任と同じ
			PM								
24	11月22日	火	AM		アスンソン大学病院協議	業務主任と同じ	機中	機中	業務主任と同じ	機中	業務主任と同じ
			PM								
25	11月23日	水	AM		JICA報告	業務主任と同じ	→成田着(JL047 13:10)	→成田着(JL047 13:10)	代理店調査	→成田着(JL047 13:10)	業務主任と同じ
			PM								

2-2 基本設計概要説明調査

			総括 齊藤 寛志	計画管理 倉光 美奈子	技術参与 小林 誠	業務主任/建築計画 浅野 静一	機材計画 赤木 重仁	通訳 井海万理
				7日間	8日間	15日間	15日間	15日間
1	2月19日	日	AM PM	ラバス発(LB927 09:25) →サンタクルス発 (LB971 16:20) アスンシオン着(18:00)	成田発(NH006 17:05) →ロサンゼルス(13:05 RG8837)	成田発(JL048 18:55)→	成田発(JL048 18:55)→	成田発(JL048 18:55)→
2	2月20日	月	AM PM	JICA・アスンシオン大学表 敬	JICA・アスンシオン大学表 敬	JICA・アスンシオン大学表 敬	JICA・アスンシオン大学表 敬	JICA・アスンシオン大学表 敬
3	2月21日	火	AM PM	大使館表敬 アスンシオン大学病院協議	大使館表敬 アスンシオン大学病院協議	大使館表敬 アスンシオン大学病院協議	官と同じ アスンシオン大学病院協議	官と同じ アスンシオン大学病院協議
4	2月22日	水	AM PM	アスンシオン大学病院協議 ミニッツ協議	アスンシオン大学病院協議 ミニッツ協議	アスンシオン大学病院協議 ミニッツ協議	官と同じ アスンシオン大学病院協議	官と同じ アスンシオン大学病院協議
5	2月23日	木	AM PM	ミニッツ協議 アスンシオン発 (RG7311 18:20)→サン パウロ(RG8864 23: 59)	ミニッツ協議	ミニッツ協議	官と同じ	官と同じ
6	2月24日	金	AM PM	ミニッツ協議	→ニューヨーク(NH009 11:15) アスンシオン(18:20 RG7311)→サンパウロ (23:10 UA824)	ミニッツ協議	官と同じ	官と同じ
7	2月25日	土	AM PM		→成田(15:20着)	→ワシントン(11:10 NH001)	団内会議	団内会議
8	2月26日	日	AM PM			→成田(15:15着)	団内会議	団内会議
9	2月27日	月	AM PM	ミニッツサイン			ミニッツサイン アスンシオン大学病院協議	業務主任と同じ アスンシオン大学病院協議
10	2月28日	火	AM PM				アスンシオン大学病院協議	業務主任と同じ アスンシオン大学病院協議
11	3月1日	水	AM PM				補足調査	業務主任と同じ 補足調査
12	3月2日	木	AM PM				アスンシオン大学協議 大使館報告	業務主任と同じ アスンシオン大学協議
13	3月3日	金	AM PM				アスンシオン→ サンパウロ	アスンシオン→ サンパウロ
14	3月4日	土	AM PM				→機中	→機中
15	3月5日	日	AM PM				→成田	→成田

3. 関係者リスト

機関名	所属部署	氏名
日本大使館	大使 参事官 二等書記官	高橋 利弘 Yamamoto Takashi 島田 嘉幸
JICA	所長 次長 次長 職員 職員	斉藤 寛志 武田 Hiroyuki 岩谷 寛 中川 岳春 後藤 Roberto
企画庁	長官	Arq. Rosa Miguelina Gomez de Martínez
アスンシオン大学	学長 副学長 医学部長	Ing. Agr. Pedro Gerardo González Arq. Amado Franco Navoni Dr. Juan Cattoni
大学病院	医学部長代理 病院長 管理部長 審議会議長 メンテナンス部長 (大学病院) メンテナンス部長 (母子病院) 看護部長 統計部 管理部 外科 1 外科 2 泌尿器科 外傷科 眼科 耳鼻咽喉科 内科 (医長) 内科 (医長) 内科 (医長) 内科(呼吸器科) 内科(皮膚科) 中央検査室長 病理解剖部長 中央手術棟婦長 滅菌室長 成人 ICU 部長 成人 ICU 婦長 放射線室長 心臓科部長 呼吸器部長 麻酔部長 救急科・教授 神経科室長 オブザーバ	Prof. Dr. Guillermo Agüero Prof. Dr. Nelson Apuril Sandra Vásquez Prof. Jimmy Jimenez Arq. Horacio Loizaga Arq. Tatiana Ayala Lic. María Luisa Degiovani Lic. Marta Brizuela Lic. Neris Aguilar Prof. Joaquin Villalba Prof. Jorge Rodas Prof. Heinrich Neufeld Dra. María Eugenia Roselli Dr. Jorge Eduardo Carron Dr. José Roig Ocampos Dra. Jazmin Vera de Ruffinelli Dr. Masao Sano Dra. Marta Cabrera Dr. Agustin Golman Torres Proj. Jazmin de Ruffinelli Dr. Andrés Canesse Sr. José Bellasai Lic. Ismelda Vasquez Lic. Lucila Villalba Dr. Hugo Bianco Elva Isebrandt Prof. Dr. Edgar Martínez Barrios Prof. Laurentino Barrios Dr. Carlos Rochigura Proj. Ana Bordon Dra. Martha G. De Riveros Dr. Nelson Mitsui
赤十字病院	院長 医局長 産婦人科医・教諭	Dr. José Tomás Negrete Villat Dr. Hernán Mercado Dra. Teresa Ramos Percina
カトリック大学病院	院長 管理部長 外来	Dr. Carlos Insfran Lic. José Pefaur Lic. Germán López

パラグアイ共和国
アスンシオン大学病院移転・整備計画基本設計調査
協議議事録
(仮訳)

日本国政府は、パラグアイ共和国政府 (以下「パラグアイ」と記す) からの要請に基づき、「アスンシオン大学病院移転・整備計画」(以下「プロジェクト」と記す) に係る基本設計調査の実施を決定し、その調査実施を独立行政法人国際協力機構 (以下「JICA」と記す) に委託した。

JICAは、パラグアイへJICAパラグアイ事務所の斉藤寛志所長を団長とする基本設計調査団 (以下「調査団」と記す) を派遣し、2005年10月31日から11月25日までパラグアイに滞在する予定である。

調査団は、パラグアイ政府関係者等と協議するとともに、調査対象地域において現地踏査を実施した。

協議および現地踏査の結果、パラグアイ側・日本側双方は附属書に記述された主要事項について確認した。日本側は、今後更に調査を継続して基本設計調査報告書を作成する予定である。

アスンシオン
2005年11月10日

斉藤 寛志
団長
基本設計調査団
独立行政法人国際協力機構
日本国

アマド フランコ ナヴォニ
副学長
アスンシオン大学
パラグアイ共和国

ファン アドルフォ カットーニ
医学部長
アスンシオン大学医学部
パラグアイ共和国

ギジェルモ アグエロ
副医学部長
アスンシオン大学医学部
パラグアイ共和国

附属書

1. プロジェクトの目的

本プロジェクトは、アスンシオン大学病院の各種病院施設の建設および機材整備により、同医学部の教育・研究機能の拡充および同病院の提供する医療サービスの質的向上を目的とする。

2. プロジェクトの対象サイト

本プロジェクトの建設予定地は、サン・ロレンソ市に所在するアスンシオン大学病院サン・ロレンソキャンパス内であり、別添1に示されるとおりである。

3. プロジェクトの責任機関および実施機関

本プロジェクトの責任機関および実施機関はアスンシオン大学である。組織図は別添2のとおりである。

4. パラグアイ側の要請内容

協議の結果、パラグアイ側は、別添3に示した施設の建設および機材の調達を日本側に対して最終的に要請した。

5. 無償資金協力の仕組み

5.1. 調査団は、別添4に記載された日本国の無償資金協力の仕組みについてパラグアイ側に説明し、パラグアイ側はそれを理解した。

5.2. パラグアイ側は、日本国政府が本プロジェクトに対する無償資金協力の実施を承認した場合、その円滑な実施のために別添5に記載された事項を実施することを確約した。

6. 今後の調査スケジュール

6.1. 調査団は、引き続き2005年11月25日まで現地調査を継続する。

6.2. JICAは、国内解析を踏まえて基本設計概要書を作成する。また、基本設計概要説明調査団を2006年2月頃に派遣し、基本設計概要についてパラグアイ側に説明するとともに、パラグアイ側の負担事項について再確認する。

6.3. 基本設計概要説明書の内容がパラグアイ側に受け入れられた場合、JICAは基本設計調査報告書を作成し、2006年4月頃にパラグアイ側に送付する。

7. その他の協議事項

7-1. JICAは、今後の日本における十分な解析を経て、要請の妥当性を検討し、最終的なプロジェクトの内容すなわち施設のコンポーネント、機材の数量および仕様について決定する。日本側の協力対象に含まない要請コンポーネントについては、パラグアイ側が独自に整備することをパラグアイ側は確約した。また、双方は、現在パラグアイ側が独自で建築済みまたは建設予定である小児用の外来・救急・検査・画像・ICU部門および分娩室に関してはそのまま利用し、本プロジェクトに含まないことで合意した。

7-2. 双方は、アスンシオン大学病院は教育病院であるという理念のもとに本プロジェクトの設計および規模設定を行う旨を確認した。

7-3. 調査団との協議を通じ、パラグアイ側は、アスンシオン大学病院および同医学部の移転・整備に係るマスタープランを別添6のとおり改訂した。

7-4. 日本側は、本プロジェクトを2期分けて実施することを想定し、1期においてICU・外来・救急・検査・画像・管理部門を、2期において手術部門を整備するスケジュール案をパラグアイ側に説明した。パラグアイ側は、1期の終了時までには、1期で日本側が整備する病院施設の運用に必要な病床数を備えた病棟を建設することを確約した。また、1期の終了時において、2期の終了時までには2期で日本側が整備する病院施設の運用に必要な病床数を備えた病棟をパラグアイ側が建設する見通しがつかない場合には、2期目を実施しないことで双方は合意した。また、本プロジェクトにおけるパラグアイ側の負担事項は別添7のとおりであり、パラグアイ側はこれらの負担事項をスケジュール通りに実施することを確約した。

7-5. パラグアイ側は、アスンシオン大学病院移転・整備のために確保されている2005年度予算の500万米ドルを用いて、別添9の施設建設および機材調達につき2005年11月15日に入札を予定していることを説明した。また、同移転・整備計画のために確保される予定である2006年度予算の400万米ドルに関しては、現時点において財務省の承認を得ており、2005年12月に予算措置が決定されることをパラグアイ側は説明した。パラグアイ側は2006年度の予算書入手次第、1月初旬までにそのコピーをJICAパラグアイ事務所に提出することを約束した。2007年度以降については、パラグアイ側は、負担事項実施に必要な予算措置を受けるために最大限の努力をする旨別添8のとおり確約した。

7-6. アスンシオン大学が所有する別添1の建設予定地は、現在農学部が使用しているが、同敷地をアスンシオン大学病院の移転・整備のために使用することについて学内で合意が得られている旨を別添1のとおり確認した。

7-7. 電気・上下水・電話等の設備に関しては、日本側は日本側の協力対象施設のみの整備を行い、パラグアイ側の建設施設に対する設備はパラグアイ側にて独自に整備することをパラグアイ側は合意した。

7-8. パラグアイ側は、本プロジェクトにおいて整備する施設および機材の維持管理とアスンシオン大学病院が提供する医療サービスの質の向上に係る技術支援を日本側に要請した。

7-9. 将来本プロジェクトが実施されることとなった場合、調達される資機材・サービスについては輸入税や国内消費税等すべての税金を免除されなければならないので、パラグアイ側は事前に必ず関係当局と調整を行い、免税を確実なものしておくことを約束した。

7-10. パラグアイ側は、本プロジェクトが実施に至った場合、本プロジェクトにより建設された施設や調達された機材の運営維持管理に必要な人員配置および予算配置を適切に行うことを確約した。

- 別添1：建設予定地の位置図および同敷地をアスンシオン大学病院移転・整備のために使用することで学内において合意済みである旨が記載されたレター
- 2：アスンシオン大学およびアスンシオン大学医学部の組織図
 - 3：要請内容
 - 4：無償資金協力の仕組み
 - 5：無償資金協力における両国の負担事項
 - 6：アスンシオン大学病院および同医学部の移転・整備に係るマスタープラン
 - 7：パラグアイ側負担事項

- 8 : アスンシオン大学病院移転・整備のための予算に関するアスンシオン大学長からのレター
- 9 : 2005年度予算を用いてアスンシオン大学が実施を予定している施設建設および機材調達

パラグアイ側負担工事

	2005年			2006年			2007年			2008年			2009年			2010年				
	11	12	1	1	4	8	12	1	4	8	12	1	4	8	12	1	4	8	12	
2005年度予算 (500万ドル) 施設																				
小児外来・救急																				
分娩・小児用ラボ																				
小児用画像																				
機材																				
2006年度予算 (400万ドル)																				
病棟(サービス共)																				
設計																				
建設 (2.5百万\$)																				
HIA7'00x3.4階																				
入札 工事																				
整地																				
敷地インフラ (日本側工事用仮設)																				
2007年度予算 病棟(医療機材)																				
機材																				
設計・建設																				
建設(40万\$) 機材(50万\$)																				
2008年度予算																				
インフラ整備 (日本側工事用本設)																				
医学部建設																				
設計・建設(10百万\$)																				
移転																				
2009年度予算																				
移転																				

医療機材リスト

別添-4

計画番号	機材名	数量
J-06	シャーカステン (4×1)	2
K-01	攪拌器	3
K-02	尿分析器	1
K-03	生化学分析装置	1
K-04	浮遊組織温度調節槽	1
K-05	ウォーターバス	3
K-06	電子天秤	2
K-07	ドラフトチャンバー	1
K-08	遠心器	2
K-09	遠心器、血液学用	1
K-10	医用冷凍庫	2
K-11	蒸留水製造装置	1
K-12	乾熱滅菌器	2
K-13	パラフィンヒーター	1
K-14	インキュベーター	2
K-15	CO2インキュベーター	1
K-16	自動染色器	1
K-17	包埋装置	1
K-18	ミックスローター	1
K-19	ヘマトクリット遠心器	1
K-20	顕微鏡	2
K-21	顕微鏡、カメラ付	2
K-22	免疫蛍光検査顕微鏡	1
K-23	マイクロトーム	1
K-24	医用冷蔵庫	4
L-01	既滅菌物用棚	10
L-02	既滅菌物用運搬台車	2
L-03	高圧蒸気滅菌器	3
L-04	超音波洗浄器	1
L-05	滅菌室用作業台	2
L-06	バッグシーラー	1
M-01	メンテナンス工具セット	1

MINUTA DE DISCUSIONES
ESTUDIO DE DISEÑO BÁSICO PARA
EL PROYECTO DE FORTALECIMIENTO DEL HOSPITAL DE CLÍNICAS EN EL
CAMPUS DE LA UNIVERSIDAD NACIONAL DE ASUNCIÓN (UNA) – SAN
LORENZO
EN LA REPÚBLICA DE PARAGUAY

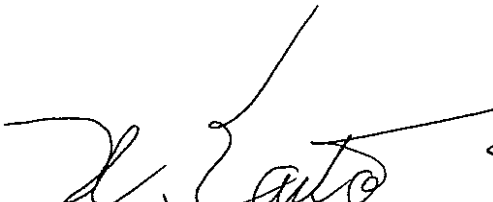
En respuesta a la solicitud presentada por el Gobierno de la República de Paraguay (en adelante referido como “Paraguay”), el Gobierno del Japón decidió implementar el Estudio de Diseño Básico para el Proyecto de Fortalecimiento del Hospital de Clínicas en el Campus de la Universidad Nacional de Asunción (UNA) – San Lorenzo (en adelante referido como “el Proyecto”) y encargó la realización de dicho Estudio a la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (en adelante referido como “JICA”).

JICA envió el Equipo de Estudio de Diseño Básico (en adelante, referido como “el Equipo de Estudio”), encabezado por el Ing. Hiroshi SAITO, representante residente de JICA en Paraguay. El Equipo de Estudio permaneció en Paraguay del 31 de octubre al 25 de noviembre de 2005.

El Equipo de Estudio sostuvo una serie de discusiones con la parte paraguaya, y condujo el estudio en campo.

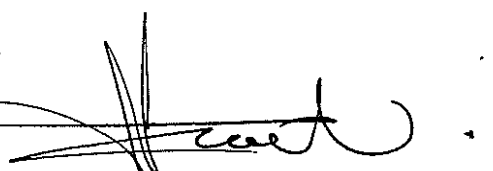
A través de las discusiones y del estudio realizado, ambas partes llegaron a un acuerdo en los aspectos principales que se describen en las hojas adjuntas. El Equipo de Estudio procederá más estudio y preparará el Informe Final del Diseño Básico.

Asunción, 11 de noviembre de 2005

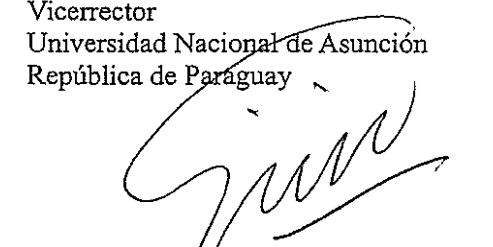


Ing. Hiroshi Saito
Jefe del Equipo
Estudio de Diseño Básico
Agencia de Cooperación Internacional
del Japón
Japón

Prof. Dr. Juan Adolfo Cattoni
Decano
Facultad de Ciencias Médicas
Universidad Nacional de Asunción
República de Paraguay



Prof. Arq. Amado Franco Navoni
Vicerrector
Universidad Nacional de Asunción
República de Paraguay



Prof. Dr. Guillermo Agüero
Coordinador General
Equipo Técnico de Construcción y
Traslado del Hospital de Clínicas
Universidad Nacional de Asunción
República de Paraguay

HOJAS ADJUNTAS

1. Objetivo del Proyecto

El presente Proyecto tiene por objetivo ampliar y mejorar la función docente y de investigación de la Facultad de Ciencias Médicas de la Universidad Nacional de Asunción, y mejorar la calidad de los servicios de salud ofrecidos por el Hospital de Clínicas, a través de la construcción y equipamiento de las diferentes infraestructuras del Hospital de Clínicas.

2. Sitio del Proyecto

El sitio del presente Proyecto se ubica en el Campus San Lorenzo de la Universidad Nacional de Asunción ubicado en el Municipio de San Lorenzo. (Véase el Anexo 1).

3. Organismos responsable y ejecutor

El organismo responsable del presente Proyecto será Universidad Nacional de Asunción y el organismo ejecutor será la Facultad de Ciencias Médicas, cuyos organigramas se presentan en el Anexo 2.

4. Solicitud de Paraguay

Con base en las discusiones sostenidas, la parte paraguaya solicitó a la parte japonesa la construcción y el equipamiento de las infraestructuras indicados en el Anexo 3.

5. Esquema de la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón

5-1 La parte paraguaya comprendió el esquema de la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón explicado por el Equipo de Estudio, tal como se describe en el Anexo 4.

5-2 La parte paraguaya se comprometió a asumir las responsabilidades necesarias para el desarrollo oportuno del Proyecto de la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón, que se describen en el Anexo 5, en el caso de que el Gobierno del Japón haya aprobado su implementación.

6. Cronograma del Estudio

6-1 El Equipo de Estudio realizará más estudios en Paraguay hasta el 25 de noviembre de 2005.

6-2 JICA elaborará el borrador del Diseño Básico con base en el estudio analítico a ser realizado en Japón y volverá a enviar el Equipo de Estudio a Paraguay con el fin de presentar y explicar el contenido de dicho documento alrededor de febrero de 2006, a la par de confirmar las responsabilidades a ser asumidas por la parte paraguaya.

6-3 Una vez aceptados los principales aspectos del borrador de Diseño Básico por la parte

paraguaya, JICA elaborará el Informe Final de Diseño Básico y lo enviará a Paraguay alrededor de abril de 2006.

7. Otros temas relevantes discutidos

7-1 JICA, después de realizar un análisis completo en Japón en los próximos meses, evaluará la relevancia de la Solicitud y definirá el perfil final del Proyecto, es decir, los componentes de infraestructura, la cantidad y las especificaciones de los equipos. En lo que respecta a aquellos componentes solicitados que sean excluidos de la cooperación japonesa, la parte paraguaya se comprometió en construirlos con esfuerzos propios. Asimismo, ambas partes acordaron en que la Consulta Externa, Emergencias, Laboratorio, Imagen, UCI para la Pediatría y las salas de parto que ya han sido construidos o se contemplan construirse con recursos propios de Paraguay, se mantendrá el uso, con lo que quedarán excluidos del presente Proyecto.

7-2 Ambas partes confirmaron que el presente Proyecto será diseñado y dimensionado bajo el concepto del Hospital de Clínicas como un hospital de docencia.

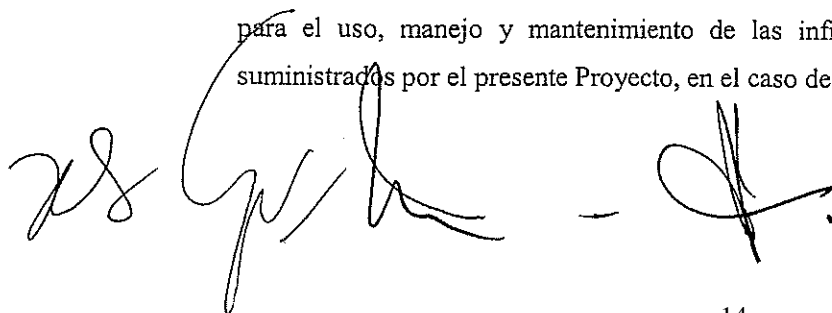
7-3 A través de las discusiones sostenidas con el Equipo de Estudio, la parte paraguaya modificó el Plan Director de Construcción y el Traslado del Hospital de Clínicas y de la Facultad de Ciencias Médicas de la Universidad Nacional de Asunción como se presenta en el Anexo 6.

7-4 La parte japonesa planteó a la parte paraguaya el cronograma tentativo del Proyecto con el supuesto de ejecutarlo dividiendo en dos fases: la primera consistente en la construcción y equipamiento de la UCI, Consulta Externa, Emergencias, Laboratorio, Imágenes y Administración, y la segunda en Quirófanos e instalaciones relacionadas con ellos. La parte paraguaya se comprometió en construir el Pabellón de Internación con la cantidad necesaria de camas para la operación de las infraestructuras hospitalarias a construirse por Japón en la Fase 1. Asimismo, ambas partes acordaron que, en el caso de que al concluirse la Fase 1 no existiesen las perspectivas de tener por terminado hasta concluir la Fase 2 el Pabellón de Internación con cantidad necesaria de camas para operar las infraestructuras hospitalarias a ser construidas por Japón en la Fase 2, no se implementará esta Fase. Cabe recordar que las responsabilidades que deban ser asumidas por Paraguay como contrapartida del presente Proyecto son las que se indican en el Anexo 7, para las que la parte paraguaya se comprometió en cumplirlas tal como se establece en el cronograma

7-5 La parte paraguaya explicó que se contempla invertir US\$ 5.000.000 (cinco millones de dólares estadounidenses) correspondientes al año fiscal 2005 para la construcción y el traslado del Hospital de Clínicas, para lo cual está contemplado realizar la licitación en el mes

de noviembre de 2005 para la construcción y el equipamiento de las infraestructuras que se detallan en el Anexo 9. Asimismo; explicó que ya está aprobado por el Ministerio de Hacienda el presupuesto del año fiscal 2006 para la construcción y traslado del Hospital, por un monto de US\$ 4.000.000 (cuatro millones de dólares estadounidenses) aproximadamente, el cual se formalizará en diciembre de 2005. La parte paraguaya se comprometió en hacer entrega de la copia del Presupuesto General de los Gastos de la Nación del año 2006 formalizado. Esta entrega se hará en los primeros días de enero, inmediatamente después de obtenerlo. Para los subsiguientes años, a partir de 2007, la parte paraguaya se comprometió en invertir los mejores esfuerzos para asegurar el presupuesto necesario para el cumplimiento de las responsabilidades asumidas, tal como aparece en el Anexo 8.

- 7-6 El terreno para el Proyecto indicado en el Anexo 1 perteneciente a la Universidad Nacional de Asunción, se encuentra actualmente utilizado por la Facultad de Ciencias Agrarias. La parte paraguaya ha afirmado, como se indica en el Anexo 1, que ya existe un acuerdo interno en la Universidad para utilizar este terreno para la construcción y traslado del Hospital de Clínicas.
- 7-7 En lo que respecta a las instalaciones de electricidad, agua potable, desagüe, teléfono, etc., ambas partes acordaron en que la parte japonesa se hará cargo de las instalaciones correspondientes a la porción de cooperación, mientras que la parte paraguaya dotará de las instalaciones a las obras paraguayas a su propio costo.
- 7-8 La parte paraguaya solicitó a la parte japonesa la cooperación técnica en los temas de operación y mantenimiento de las infraestructuras y equipamientos a ser construidos y suministrados a través del presente Proyecto, así como del mejoramiento de calidad de los servicios de salud que preste el Hospital de Clínicas.
- 7-9 Los bienes y servicios a ser adquiridos en relación con el presente Proyecto, en el caso de que éste llegue a ejecutarse en el futuro, deberán ser exentos del impuesto de exportación, IVA y otros cargos fiscales internos. Para ello, la parte paraguaya prometió realizar las coordinaciones necesarias con las autoridades pertinentes con suficiente antelación, para asegurar la exoneración del pago de impuestos.
- 7-10 La parte paraguaya se comprometió a asignar los recursos humanos y financieros necesarios para el uso, manejo y mantenimiento de las infraestructuras construidas y los equipos suministrados por el presente Proyecto, en el caso de que éste llegue a ejecutarse.





Universidad Nacional de Asunción

RECTORADO

www.una.py

C. Elect.: rector@una.py

Telefax: 595 - 21 - 585540/3, 585617/8

CC: 910, Asunción - Paraguay

Campus de la UNA, San Lorenzo - Paraguay

San Lorenzo, 10 noviembre de 2005

UNA N° 0715/2005

Distinguido Señor:

Tengo el agrado de dirigirme a usted, a los efectos de poner a su conocimiento que en el día de la fecha se ha suscripto un "Acuerdo entre la Facultad de Ciencias Médicas y la Facultad de Ciencias Agrarias de la Universidad Nacional de Asunción".

Este Acuerdo se ha realizado en razón de que la fracción de terreno, ubicada en el Campus de San Lorenzo, perteneciente a la Universidad Nacional de Asunción, actualmente utilizada por la Facultad de Ciencias Agrarias, será destinada para el Proyecto de Fortalecimiento del Hospital de Clínicas.

Consecuentemente, el mencionado terreno, cuyas dimensiones se detallan en el plano correspondiente, será destinado para la construcción y traslado del Hospital de Clínicas en el Campus de San Lorenzo, y sobre el cual la JICA ya puede elaborar el Borrador del Diseño Básico.

Sin otro particular, hago propicia la ocasión para saludarle con las expresiones de mi más distinguida consideración.

Prof. Arq. AMADO FRANCO NAVONI
VICERRECTOR - RECTOR EN EJERCICIO

A
HIROSHI SAITO, Representante Residente
Agencia de Cooperación Internacional del Japón
Oficina en Paraguay
Presidente Franco y Ayolas Edif. Ayfra Piso 11
Asunción

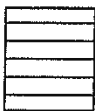


CALLE CRUZADA DE LA AMISTAD

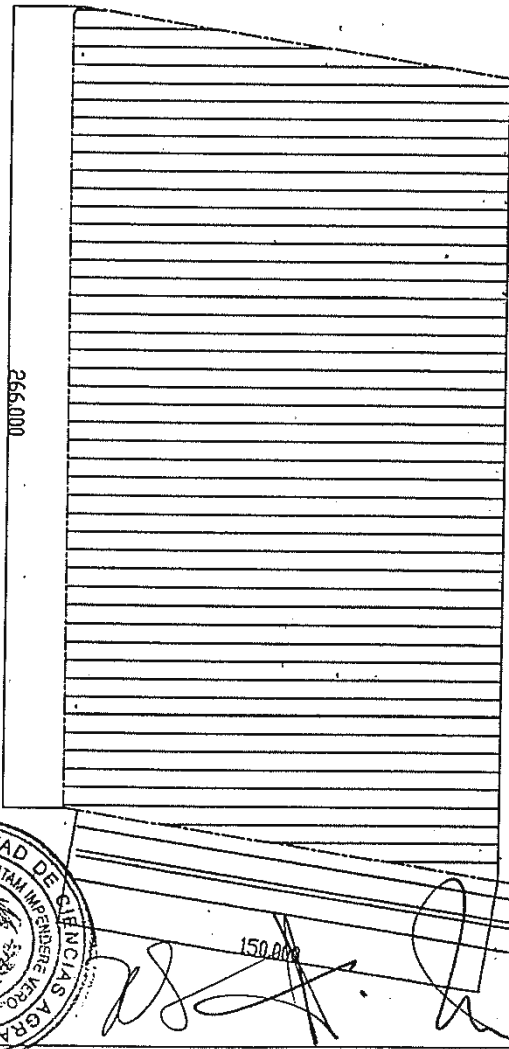


AVENIDA MARISCAL LOPEZ

PLANO DEL TERRENO
PLAN DIRECTOR
HOSPITAL DE
CLINICAS



Terreno ocupado por la Facultad de Ciencias Agrarias
que sera destinado para el Proyecto del
Fortalecimiento del Hospital de Clínicas



o más, hasta el límite ocupado por la Facultad de Ciencias Agrarias
Segun Mensura, equivalente a 4 hectareas aproximadamente

266.000

150.000



APL. Lucas
11/11/08

Agustin A. Aguilar
11/11/08